

第 2 章

施策 6 基本事業 2

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	10日 日
事務事業名	道路改良舗装事業				事業類型	生活環境整備			
担当部課G等	建設部 土木課			建設G	記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり							■ 実施計画 対象事業
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名	2 生活道路の整備							
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 03	事業名 道路改良舗装事業	根拠法令	道路法		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度~)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 市道に認定された道路を対象に、生活道路としての交通の利便を図るとともに、通過交通量の多い道路には自動車・自転車及び歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備及び道路の冠水を解消するための排水路整備を進める。					【業務内容】 自治会との整備箇所の事前協議、整備申請の受付 道路整備審査会の準備開催など 整備計画の調整及び実施路線の測量設計業務の発注 実施路線の地元説明会の実施 地権者交渉及び用地登記業務 工事発注及び工事監督業務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
整備の必要性がある市道		採択され整備が残っている件数		件	128.	127.	124.	122.	121.	
		うち当該年度採択件数		件	1.	2.	3.	3.	2.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
整備路線の選定、関係地権者への通知・説明会の開催・事業同意確認・測量設計・用地取得・工事設計・工事実施		整備中の路線件数		件	40.	38.	39.	40.	39.	
		改良舗装等工事発注件数		件	27.	8.	8.	8.	7.	
		業務委託等発注件数		件	16.	14.	14.	14.	12.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
地域からの要望を踏まえた整備を行う(拡幅、舗装、歩道整備)		道路改良率		%	28.75	29.1	29.5	30.	30.4	
		年度毎の改良延長		m	3502.66	4048.	4000.	4000.	3500.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	49,136	18,725	71,500	19,800	38,250	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	161,700	67,900	116,300	183,900	117,500	0		
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	273,366	127,676	250,424	298,850	249,550	0		
	人件費計(B)	千円	17,652	3.45人	21,885	4.30人	21,885	4.30人	21,885	4.30人
投入量(A)+(B)	千円	291,018		149,561		272,309		320,735		271,435
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		・市の事業実施計画や地域からの要望による。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・地元の要望や地理的特性を踏まえ、地域に合った整備手法を提案するなど、「みちづくり」について行政のビジョンが求められている。また、整備順位は地域格差を極力出さないような公平性が求められる。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・市民が必要としている路線の早期実施、早期完成及び市民が納得できる整備路線の選定の必要がある。								

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閾与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 多くの人が利用すると考えられる市道は、公共の福祉に鑑み、公道として行政が整備することは妥当である。	
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない 多くの採択路線を抱える中、住民の早期整備の要望に応え、整備率をより早く向上させるためには、現在以上の予算と人員確保が必要であるが、現在の市の財政状況では難しい。今後の事業進捗においては、関係地権者の理解と協力が必要なため、事前説明会等で働きかけを行っていく。	□余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 農道整備事業等との統合を検討できるが、所管する省庁との協議を要するため、現時点での実行は難しい。また、住民の要望が強い事業であり、廃止・休止は現実的ではない。	□統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 最小限の工事量で行っており、事業費を削減すると路線ごとの完了年度が遅れるため削減は難しい。また、設計、委託及び工事の監督のほか、用地交渉や登記なども最小限の人員で行っているため人件費の削減は難しい。	□事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である 市道は不特定多数の人が利用するものであり、受益者負担を求める事業ではない。	□見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) →			□有効性の改善 □効率性の改善																						
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																									
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)			改革・改善による期待成果																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下		×	×																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)																									
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																									
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																									

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート					作成日 令和7年6月10日	点検日 年月日		
事務事業名	菅谷飯田線道路整備事業					事業類型	生活環境整備			
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備グループ		記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり							■ 実施計画 対象事業
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名		2 生活道路の整備							
予算科目	一般会計	款 07	項 03	目 03	事業名 菅谷飯田線道路整備事業	根拠法令	都市計画法、道路法			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度~)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (令和3年度~令和11年度)			

事業概要

【全体概要】

本路線は、常磐自動車道那珂ICと国道118号を結び、水戸・勝田都市圏における交通機能の向上及び地域経済の活性などに大きく寄与する重要幹線道路である。

本路線を整備することにより、交通ネットワークや重要物流機能の強化、市や周辺自治体の観光振興、付近の小学校等の安全安心な歩行空間の確保が図られる。

【業務内容】

都市計画道路整備のため、用地買収及び道路工事

延長:L=2,200m、幅員:W=27m

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
都市計画道路 菅谷・飯田線	道路延長	m	2200.	2200.	2200.	2200.	2200.		
		m	0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
道路用地買収、道路改良工事	用地買収面積	m ²	0.	8245.14	5193.19	3450.	8000.		
	改良工事延長	m	0.	0.	0.	0.	660.		
		m	0.	0.	0.	0.	0.		
		m	0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
市民に対する交通機能の向上、安全な通学路の確保等が図られる。	用地買収進捗率	%	0.	22.01	35.87	45.08	66.44		
	整備済合計延長	m	0.	0.	0.	0.	660.		
		m	0.	0.	0.	0.	0.		
		m	0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移	単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内 訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他の 一般財源	千円	44,033 0 35,900 0 16,636	96,361 0 83,000 0 1,061	121,354 0 105,000 0 9,378	159,170 0 168,200 0 12,694	318,835 0 391,100 0 12,729	1,074,700 0 835,000 0 110,300	
	事業費計(A)	千円	96,569	180,422	235,732	340,064	722,664	2,020,000	
	人件費計(B)	千円	8,425 1.35人	12,755 2.45人	13,230 2.65人	13,230 2.65人	13,230 2.65人		
	投入量(A)+(B)	千円	104,994	193,177	248,962	353,294	735,894		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	常磐自動車道那珂ICと国道118号を結ぶことにより、本市が担う県北域の玄関口としての機能増進、重要物流の円滑化、周辺観光地へのアクセス強化等に大きく寄与するものとして都市計画道路整備を図る。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	県施工による国道118号バイパスの整備延伸が着手された。また、市の那珂インター周辺開発に係る道の駅整備構想も進められている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	道の駅との関わりが深い路線であることから、整備方針等について市議会でも関心の高い路線となっている。

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) グループの枠を超えて、課全体で用地交渉に取り組み、遅滞なく事業を進められるよう努めた。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 国道118号バイパスと那珂インター区間を4車線で結ぶことにより、市が担う県北地域の玄関口としての機能増進、観光地へのアクセス強化等の整備効果が早期に図られるよう事業を行うため、市が主体となって事業を行うことは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれではありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画道路の性質上、線形や構造の変更は原則できないことから、規格どおりの整備を進めていくことになるが、事業の進捗率を上げるために、課全体で用地の交渉に取り組み、早期の事業用地の確保を図る。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものがありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない ■統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画道路の整備は、基本的に1路線1事業として進めており、路線の概成をもって整備効果が発揮されるため、統廃合の余地はなく、廃止・休止もできない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない ■事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画道路の規模に見合う整備を、必要最低限の国交付金を活用し進めており、かつ最少人員で複数事業を遂行しなければいけない状況であるため、削減の余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> ■受益者負担を求める事業ではない ■受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善)→ □目的の再設定 □公平性の改善 → □現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	■有効性の改善 □効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																							
事業の進捗に遅れが生じないよう、課全体で交渉に取組むとともに、重点的に移転対象者との交渉を重ね、粘り強く丁寧に用地交渉に努める。また、他事業との調整事項が多いため、関係部署との協議を密に行い、円滑な事業の進捗を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持		×	×	低下	×	×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持		×	×																					
	低下	×	×	×																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		(■見直し □現状維持)																							
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 外の事業との関連もあることから、遅滞なく事業推進に取り組むこと。																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続		(□見直し □現状維持)																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続		(□見直し □現状維持)																							

第 2 章

施策 6 基本事業 3

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート						作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	7日 日
事務事業名	道路維持補修事業						事業類型	施設設営・維持管理			
担当部課G等	建設部 土木課			維持グループ			記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業		
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える								
	基本事業名		3 道路の適正な維持管理								
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 02	事業名 道路維持補修事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				

事業概要

【全体概要】

道路の機能維持のための補修及び自治会等の要望による補修を
舗装補修、側溝布設、その他維持補修のための設計、積算及び監督。

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市道 ・建設資機材				市道認定延長	km	1164.03	1164.06	1164.2	1164.4	1164.6
						0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・道路舗装補修(簡易な補修を含む) ・建設資機材の購入及びレンタル ・建設車両の整備				補修実施件数(自治会申請分)	件	335.	331.	300.	300.	300.
				建設車両所有台数	台	5.	5.	5.	5.	5.
				碎石購入量	m3	735.	615.	1000.	1000.	1000.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・道路機能を維持し利用者が安全に通行できるようにする。 ・住民及び警察等の道路維持補修要望に迅速に対応できる。				補修実施率(自治会申請に対する対応率)	%	100.	100.	100.	100.	100.
				資機材提供件数	件	14.	13.	20.	20.	20.
				資機材要望対応率	%	100.	100.	100.	100.	100.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	1,326	2,166	3,147	4,300	4,300	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	71,900	72,800	111,900	148,900	148,900	0		
	その他の 一般財源	千円	5,000	6,000	5,000	5,000	5,000	0		
	事業費計(A)	千円	153,438	162,894	207,672	233,415	233,415	0		
	人件費計(B)	千円	11,716	2.32人	12,198	2.28人	12,198	2.28人	12,198	2.28人
投入量(A)+(B)	千円	165,154		175,092	219,870	245,613		245,613		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			市道管理が始まった段階から行っている。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			市への要望件数は増加傾向にある。 道路の陥没により車を損傷させるといった事故が年に1回程度発生している。 すべての道路を常に見回り・補修を行うには人的に厳しい。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			道路を利用する人から、早急に補修するよう要望がある。							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の公共財産であるため、行政が維持管理を行う。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路陥没による車両破損事故を減らすため、定期的なパトロールを行っているが、全ての路線をカバーするにも限度がある。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。 良好な道路環境を維持するため、廃止・休止は不可能である。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐわないのでありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 迅速な補修対応を行っていくためには、事業費削減の余地はない。 必要最低限の人員で行っており、人件費削減の余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路は不特定多数の人が利用するため、市が負担することは適当である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">□ 目的の再設定 □ 公平性の改善</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 </div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																				
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																		
		<table border="1" style="width: 100px; text-align: center;"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>低下</td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		○	低下	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		○																	
	低下	×	×																	
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																		
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																				

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	10日 日
事務事業名	冠水対策推進事業				事業類型	生活環境整備			
担当部課G等	建設部 土木課			建設G	記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり							■ 実施計画 対象事業
	施策名	6 利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名	3 道路の適正な維持管理							
予算科目	一般会計	款 07	項 01	目 03	事業名 冠水対策推進事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
<p>【全体概要】 市内の冠水する市道において、安定した排水能力を確保し、台風や集中豪雨などの影響による冠水被害を減らすことで、市民の安心安全な生活環境を守るものである。</p>					<p>【業務内容】 事業計画及び詳細設計 地権者交渉 工事費積算及び施工監督</p>				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
整備の必要性のある排水路整備箇所				採択され整備が残っている件数	件	24.	24.	24.	24.
				採択されている総延長	m	8134.	8134.	8134.	8134.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
整備路線の選定、関係地権者との調整、事業同意確認・測量設計・用地取得・工事設計・工事実施				整備中の路線件数	件	3.	2.	3.	2.
				業務委託等発注件数	件	3.	4.	3.	3.
						0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
地域からの要望を踏まえた整備を行う(排水路整備)				年度毎の整備延長	m	280.	171.	152.	150.
						0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費	
事業費 内訳	国庫支出金	千円	38,005	56,891	93,500	84,150	129,250	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	15,500	82,200	95,800	83,900	146,200	0	
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	51,496	24,286	45,250	35,250	70,430	0	
	人件費計(B)	千円	105,001	163,377	234,550	203,300	345,880	0	
投入量(A)+(B)	千円	122,653	181,082	252,255	221,005	363,585			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ			・近年発生する台風や集中豪雨等により、市内において冠水箇所が増加していることによる。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・近年発生する台風や集中豪雨により、市内の冠水箇所の要望が増えており、市民の住みよい環境づくりをするため現場確認等により調整している。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・市民が必要としている路線の早期実施、早期完成及び市民が納得できる整備路線の選定の必要がある。						

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0千円 <input type="checkbox"/> （人件費） 0千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0千円 <input type="checkbox"/> （人件費） 0千円	■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である □見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市内における冠水箇所は、環境整備のため行政が整備することは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない □余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 冠水箇所が増えている中、住民の早期整備の要望に応え、環境を向上させるためには、現在以上の予算と人員確保が必要であるが、現在の市の財政状況では難しい。今後の事業推進で重要なので、引き続き関係地権者の理解と協力をお願いしていく。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない □統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農地基盤整備事業等との統合は検討できるが、所管する省庁との協議を要するため、現時点での実行は難しい。また、住民の要望が強い事業であり、廃止・休止は現実的ではない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない □事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 最小限の工事量で行っており、事業費を削減すると冠水箇所の解消が遅れるため削減は難しい。また、設計、委託及び工事の監督のほか、用地交渉や登記なども最小限の人員で行っているため、人件費の削減は難しい。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である ■受益者負担を求める事業ではない □見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市道は不特定多数の人が利用するものであり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)				※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">□目的の再設定 □公平性の改善</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">□有効性の改善 □効率性の改善</div> </div> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																											
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)				改革・改善による期待成果																							
				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	×	×	×
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
	低下	×	×	×																							
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))				※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)				改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																											
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																											

第 2 章

施策 6 基本事業 4

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート						作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日
事務事業名	地域公共交通活性化事業						事業類型	事業の推進			
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G			記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 対象事業		
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える								
	基本事業名		4 公共交通の維持・確保								
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 06	事業名 地域公共交通活性化事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				

事業概要

【全体概要】

市内の公共交通の現状及び住民の意向を把握し、持続可能な公共交通のあり方について検討するとともに、公共交通の利用促進を図るため、地域公共交通会議を開催する。また、不採算のため維持が困難な路線バスについて、国・県と協調補助を行い、生活交通路線の維持を図る。

【業務内容】

- ・那珂市地域公共交通計画の策定
- ・那珂市地域公共交通会議の開催
- ・県公共交通活性化会議等への加盟
- ・県水郡線利用促進会議への加盟
- ・地方バス路線運行維持対策負担金の交付
- ・連携中枢都市圏連携事業(公共交通)負担金の交付

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・公共交通機関(路線バス・鉄道) 				市民(常住人口)	人	52700.	52365.	51985.	52300.	52000.
				路線バスの路線数	路線	5.	5.	5.	5.	5.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
<ul style="list-style-type: none"> ・那珂市地域公共交通会議の開催。 ・茨城県公共交通活性化会議等への加盟。 ・路線バス運行補助金の交付。 ・その他公共交通の利用促進に関する事業。 				会議の開催回数	回	4.	1.	3.	3.	3.
				路線バス利用促進のためのPR	回	1.	1.	3.	3.	3.
				ノーマイカーウィークの実施	回	2.	2.	2.	2.	2.
				基幹バス路線への運行補助額	千円/年	1774.	2175.	2200.	2200.	2200.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利用者を増やし公共交通の活性化を図る。 ・市内を運行している基幹的なバス路線(3路線)について補助金を交付してバス路線を存続させる。 				基幹バス路線の乗車数	人/年	131262.	145103.	147937.	150771.	153605.
				市内有人駅からの水郡線乗車人員	人/日	858.	871.	884.	897.	910.
				公共交通満足度	%	14.56	14.19	15.39	16.59	17.79
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)		総事業費	
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0		0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0		0	
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0		0	
	事業費計(A)	千円	11,106	5,462	3,253	2,459	2,459		0	
	人件費計(B)	千円	3,735	0.79人	4,830	0.84人	4,830	0.84人	4,830	0.84人
投入量(A)+(B)	千円	14,841		10,292		8,083		7,289		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			福祉バスの契約が切れるのをきっかけに衰退する公共交通の今後について市の方針を検討することになり、更に平成13年4月の地方バス運行維持対策補助制度の改変により、市町村に負担が課せられるようになったため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)			運行維持が困難な路線バスについての補助金(負担金)の支出は、ここ数年増減が落ち着いていたが、コロナ禍による利用者減により増加傾向にある。路線バスやタクシーなどの運転士不足が深刻な問題となっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)			市内バス路線について、事業者から毎年補助金の負担継続の要望がある。市内バス2路線が事業性が特に低い路線に該当し、令和8年9月までに見直しに向けた協議・検討を関係者間で行なう必要がある。							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) JR水郡線の利用活性化策について利用促進会議を通じて具体的な検討を行い、県と沿線市町とともに水郡線開通90周年事業を行った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である □見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 移送手段を持たない交通弱者等にとって、市内における公共交通の維持や活性化は必要不可欠な施策であり、その方法や手段等について、関係機関との連携により市が積極的に関与することは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●成果が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれではありませんか？	□余地がない ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 生活に密着した公共交通環境の存続のためには、運行を維持するための負担金支出や公共交通会議による協議検討などは必要不可欠であり、路線バスや水郡線の利用促進及びデマンド交通の運用見直しなどにより、今後公共交通における利用者の増加や満足度の向上の余地がある。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない □統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 高齢化社会における地域公共交通のあり方を検討することは市の最重要課題の一つであり、生活交通路線への負担金支出や検討機関の設置及び協議などは有効策であると考えており、統廃合や廃止できるものではない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない □事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は生活交通バス路線の維持に係る負担金であるため、削減余地はない。また、人件費についても必要最小限であるため、削減余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■適正である □受益者負担を求める事業ではない 路線バス運行補助金は、地域間幹線系統の路線バスを維持していくため、受益者負担だけでは運行の採算が取れない路線バス事業費の一部に対し、国・県と協調して支出しているものであり、受益者負担は適正である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)				※担当課長、グループ長、担当者が記載										
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 近隣市町村や関係機関などと連携を図りながら、現行のバス路線や水郡線の利用促進・維持存続に努める。また、令和5年度に策定した地域公共交通計画に基づき、市民の要望や利用状況などを調査分析し、市民にとって利便性の高い持続可能な地域公共交通サービスを検討していく。										
				■有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善										
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))				※担当部長が記載										
<input type="checkbox"/> 終了				<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)										
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 公共交通として市民から求められていることが多種多様化しているため、現状の把握や利用状況など調査分析し、事業の成果向上を図ること。				改革・改善による期待成果										
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))				<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>	成 果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	
成 果	コスト													
	削減	維持	増加											
	向上	○												
<input type="checkbox"/> 終了				維持										
<input type="checkbox"/> 廃止				低下										
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)				<input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)										

評価対象年度	令和6年度		事務事業評価シート						作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	6日 日	
事務事業名	公共交通利用促進施設管理事業						事業類型	施設設営・維持管理					
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G			記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり										■ 実施計画 対象事業
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える										
	基本事業名		4 公共交通の維持・確保										
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 06	事業名 公共交通利用促進施設管理事業			根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要													
【全体概要】 水郡線利用促進のため、駅周辺に整備された駐車場や駐輪場等の維持管理及び瓜連駅での乗車券類簡易委託販売を行う。							【業務内容】 駐車場(瓜連駅南)及び駐輪場(後台駅、下菅谷駅、中菅谷駅、上菅谷駅、額田駅、常陸鴻巣駅、瓜連駅北、瓜連駅南、静駅)の維持管理、駅前公衆トイレ(後台駅、上菅谷駅、瓜連駅南、瓜連駅北、静駅)及び広場の清掃並びに乗車券販売委託(瓜連駅)						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・市民(水郡線利用者)					④対象指標(対象の大きさを表す指標) 市民(常住人口) 人 52700. 52365. 51985. 52300. 52000. 市内有人駅からの水郡線乗車人員 人/日 858. 871. 884. 897. 910.								
②手段(具体的な事務事業のやり方) 有料駐車場の契約・料金徴収、駐車場・駐輪場の維持管理、駅前公衆トイレ・広場の清掃、瓜連駅の乗車券・定期券の販売、防犯カメラの設置(後台駅・下菅谷駅・中菅谷駅・上菅谷駅・瓜連駅南北)。					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 有料駐車場利用者募集回数 回/年 1. 1. 1. 1. 1. 公衆トイレ・駐輪場等管理委託日数 日/年 366. 365. 365. 365. 366. 乗車券・定期券販売日数 日/年 366. 365. 365. 365. 366. 0. 0. 0. 0. 0.								
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 水郡線駅周辺の公共交通に関する施設をより快適に利用してもらい、公共交通利用者の増加を図る。					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度) 瓜連駅南有料駐車場利用者数 台/年 13. 10. 13. 13. 13. 乗車券・定期券販売件数 件/日 47. 44. 45. 45. 45. 公共交通満足度 % 14.56 14.19 15.39 16.59 17.79 0. 0. 0. 0. 0.								
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費					
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他の 一般財源	千円	716	660	1,000	1,000	1,000	0					
	事業費計(A)	千円	5,846	5,312	6,312	6,312	6,312	0					
	人件費計(B)	千円	6,562	5,972	7,312	7,312	7,312	0					
投入量(A)+(B)	千円	8,743	8,804	10,144	10,144	10,144	0						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ			旧国鉄用地の払い下げを受け、市有地の有効活用及び水郡線の利用促進のため駐車場・駐輪場の整備を行った。また、瓜連駅の乗車券委託販売は、駅の無人化により利用者のサービス低下を防ぐことを目的に開始した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			自治会からの要望を受けて、駅前に駐車場や駐輪場、公衆トイレ等の整備、並びに防犯灯や防犯カメラの設置を進めた。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			公衆トイレの故障・破損、駅駐車場や駐輪場の利用マナーなどについて、市民から意見・苦情が寄せられている。										

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 駅利用者や地元自治会などの意見・要望などを捉え、必要に応じてJRと連携し適切な維持管理を行った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 駅利用者が安全で快適な施設環境の維持管理を市が主体となって行うことにより、駅利用者の利便性向上が図られ、利用者の増加や満足度の向上につながるため、市の閥与は妥当である。
	②成果の向上余地 ●当時の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない 駅利用者が安全で快適に利用できるための駅周辺の駐車場や駐輪場、トイレなどの維持管理であり、引き続き快適な環境を維持していくための事業であるため向上の余地がない。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 駅周辺の環境づくりのため、駅周辺の駐車場や駐輪場、トイレなどの維持管理については廃止・休止すべきではないと考える。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 事業費は、駅周辺の駐車場や駐輪場、トイレなどの清掃業務や維持管理業務など、シルバー人材センターなどへの委託費であるため、削減余地はない。また、人件費についても必要最小限であるため、削減余地はない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である ■受益者負担を求める事業ではない 駅周辺の駐輪場などの維持管理については、安全で快適な環境づくりにつながり、駅利用者の増加を図るものであることから、受益者負担を求めるものではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> ■継続	<input type="checkbox"/> □見直し(改革・改善)→ □目的の再設定 □公平性の改善	<input type="checkbox"/> □有効性の改善 □効率性の改善																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)			改革・改善による期待成果																						
駅周辺の駐車場や駐輪場、公衆トイレなどの利用環境を整えることは、安全で快適な環境づくりにつながり、駅利用者の増加を図るものであることから、今後も定期的な維持管理を実施する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>低下</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr> </tbody> </table>				成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下	×	×	×
成果	コスト																								
	削減	維持	増加																						
向上																									
維持		○																							
低下	×	×	×																						
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input checked="" type="checkbox"/> ■継続	(<input type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> ■現状維持)																			
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																									
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> □継続	(<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> □現状維持)																			
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																									
<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> □継続	(<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> □現状維持)																			

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート						作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	9日 日
事務事業名	デマンド交通運行事業						事業類型	デマンド運行			
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G			記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 實施計画 対象事業		
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える								
	基本事業名		4 公共交通の維持・確保								
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 06	事業名 デマンド交通運行事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度~)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 鉄道駅から遠くバス路線もない地域等、日常生活の移動手段に不便をきたしている地域住民の交通手段の確保を図るため、那珂市地域公共交通計画に基づき、デマンド交通を運行する。						【業務内容】 ・利用者の登録等 ・運行事業者への運行費用の補償					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民(特に日常生活の移動に支障をきたしている市民)				市民(常住人口)	人	52700.	52365.	51985.	52300.	52000.
				ひまわりタクシー登録者数	人	3597.	3797.	3997.	4197.	4397.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
デマンド交通「ひまわりタクシー」の運行及び利用促進				ひまわりタクシー運行日数	日/年	293.	293.	292.	292.	294.
				ひまわりタクシー運行台数	台/日	6.	6.	6.	6.	6.
				ひまわりタクシー新登録者数	人/年	365.	411.	400.	400.	400.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民の地域内の移動を支援することにより、市内の公共施設や商業・福祉施設、医療機関等への利便性の向上を図る。				ひまわりタクシー利用者数	人/年	20438.	20137.	26500.	27900.	29300.
				1台当たりの利用者数	人/台	1.16	1.14	1.51	1.59	1.66
				1日当たりの利用者数	人/日	69.75	68.72	90.75	95.54	99.65
				公共交通満足度	%	14.56	14.19	15.39	16.59	17.79
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	7,441	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の一般財源	千円	59	49	54	54	54	0		
	事業費計(A)	千円	28,429	36,186	36,576	49,576	39,576	0		
	人件費計(B)	千円	35,929	36,235	36,630	49,630	39,630	0		
投入量(A)+(B)	千円	39,124	40,525	40,920	53,920	43,920				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ				市公共交通連携計画の策定に当たり実施した市民アンケートやまちづくり委員会の意見交換会の結果などにより、市の実情に応じた持続可能な地域公共交通としてデマンドタクシーの要望が多かったため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)				公共交通においては、利便性向上やコスト低減に向け、各地でAI予約・配車システムや自動運転バスの実証実験、キャッシュレスの推進など情報技術の活用が進んでいる。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)				運転免許を返納したかたや車が無いかたからの利用者登録申請が多く、デマンド交通を利用していきたいとの意見がある。高齢者を中心に「情報技術になじみがなく分からない」という意見がある。						

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 市民や利用者などの意見・要望などを踏まえ、乗降場所の見直しを行った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥との妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 民間事業者による一般タクシー運行はあるが、市が運営主体の地域公共交通としてデマンド型乗合タクシーを運行することにより利用者負担が抑えられ、高齢者を中心とした交通弱者の有効な移動手段として活用されているため、妥当であると考える。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 今後高齢化が進行するにあたり、利用者はますます増加することが予想されることから、利用者が利用しやすい乗降場所の見直しなど、サービスの改善を図る余地がある。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない JR水郡線と路線バスを基幹系交通とし、デマンド交通はそれを補完する市の地域公共交通に位置づけ、市民の誰もが安心して利用できる移動手段として運行していることから、デマンド交通の廃止・休止はできないものと考える。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 事業費については、サービス内容の改善などに伴う運行補償料の増加などを見据えた場合、削減余地はないものと考える。 人件費についても、改善による事業量の増加や積極的な事業の周知・啓発活動などが必要となることから、削減余地はないものと考える。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない デマンドタクシーに係る利用料金は、他市町村と比較してもほぼ同等な水準であり、また利用者の大部分が高齢者であることを考えると、現利用料金(市内300円・100円(障がい者・要介護者等)、市外600円・200円(障がい者・要介護者等)は受益者負担金の額として適正であると考える。
	3 計画の部(PLAN)	

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載													
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/>目的の再設定 <input type="checkbox"/>公平性の改善 ■有効性の改善 <input type="checkbox"/>効率性の改善 </div> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)														
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 利用者アンケートによる意見や要望を集約し、利用しやすい乗降場所の見直しなどサービスの改善を図る。	改革・改善による期待成果													
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 免許返納者や交通弱者は年々増加しており、事業の必要性は大きいことからサービスの向上に取り組むこと。	<table border="1" style="width: 100px; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td><td></td> </tr> <tr> <td>低下</td><td>×</td> </tr> </table>	コスト				削減	維持	成果	向上	○	維持		低下	×
コスト														
	削減	維持												
成果	向上	○												
	維持													
	低下	×												
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載													
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)														
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 免許返納者や交通弱者は年々増加しており、事業の必要性は大きいことからサービスの向上に取り組むこと。														
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))														
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)														
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)														

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート						作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	9日 日
事務事業名	運転免許自主返納等支援事業						事業類型	普及啓発			
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G			記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり						■ 実施計画 対象事業		
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える								
	基本事業名		4 公共交通の維持・確保								
予算科目	一般会計	款 02	項 01	目 06	事業名 運転免許自主返納等支援事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				

事業概要

【全体概要】

運転に自信がなくなった方や家族から運転免許の返納を勧められている方などに免許の自主返納を促し交通事故の抑制を図るとともに、免許を返納した高齢者等が公共交通を利用する(乗り慣れる)動機づけ(きっかけ)としてもうために、ひまわりタクシーの特別利用券を対象者に交付する。

【業務内容】

運転免許自主返納者に対してひまわりタクシーの特別利用券を交付。
ひまわりタクシーで使用された利用券分を報奨費として事業者へ支出。

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・自動車等の運転免許の自主返納の対象となる市民				市民(常住人口)	人	52700.	52365.	51985.	52300.	52000.
				65歳以上の高齢者人口	人	17566.	17652.	17685.	17738.	17743.
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・デマンド交通「ひまわりタクシー」の特別利用券の交付 ・制度や事業の周知啓発等を図る				年間特別利用券交付者数	人	119.	124.	150.	160.	170.
				出前講座等での説明会実施	回	0.	0.	2.	2.	2.
						0.	0.	0.	0.	0.
						0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・運転に自信がなくなった方に運転免許の自主返納を促す ・運転免許を自主返納した方の地域公共交通への誘導を図り、移動支援をすることで高齢者等の交通事故を抑制する				市内の高齢者交通事故(人身)件数	件	42.	19.	30.	25.	20.
				運転免許自主返納者数	人	140.	199.	200.	210.	220.
				年間特別利用券利用者数	人	1952.	1889.	2200.	2300.	2400.
						0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	459	510	615	615	615	0		
	人件費計(B)	千円	1,125	0.25人	1,188	0.24人	1,188	0.24人	1,188	0.24人
投入量(A)+(B)	千円	1,584		1,698		1,803		1,803		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ			自動車等の運転に自信がなくなった市民に運転免許の自主返納を促し、交通事故の抑制を図るとともに免許返納後の移動手段を確保することが必要となった。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			免許の自主返納者数は増加傾向にあり、本事業の周知により更なる増加が予想される。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			免許を返納した本事業の申請者に聞き取ったところ、「返納後も生活の足が確保できる目途がついて助かる」「返納への決心への後押しとなった」との意見があった。							

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえて見直した内容) 免許返納したかたへの本事業の趣旨・内容の周知のほか、那珂警察署にて返納手続きの際に、本事業とデマンド交通の両申請書の一式を同署にて配布していただくよう依頼し、一定の効果が見られたので継続して実施した。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である 高齢者の交通事故抑制や交通弱者の移動手段確保は、行政が主体となって取り組まなければならない重要課題の1つであり、免許返納後の自家用車の代替として、市の地域公共交通を活用してもらうために市が支援を行い閥与することは妥当である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれではありませんか？	■余地がない 免許返納の窓口である警察署と連携することにより、免許返納の際に警察署でデマンド交通の利用につながる本事業の案内を返納者に対し直接行っているため、これ以上の成果向上の余地がない。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない 免許返納を検討しているかたに対するきっかけづくりやインセンティブとなる事業として効果を上げつつある事業であり、かつ現状は他に類似する事業がなく代替性がないことから、廃止・休止は適正でないと考える。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない 高齢者などの運転技術の衰え・低下による交通事故を避けることを目的とする免許返納者数の増加に伴い、特別利用券申請者数は年々増加傾向にあることから、今後の事務量などの減少は考えにくく、事業費及び人件費の削減余地はないものと考える。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である ■受益者負担を求める事業ではない 高齢者などの交通事故抑制のために運転免許の自主返納を促し、返納後の移動手段の確保を図るために支援を行うものであるため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)		※担当課長、グループ長、担当者が記載 □ 有効性の改善 □ 効率性の改善
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 那珂警察署と連携し、免許返納手続き済のかたに対し本事業の申請書を同署にて配布してもらうことを継続する。高齢者の交通安全と免許返納の啓発などについては、交通安全所管部署と連携していく。		改革・改善による期待成果 コスト △削減 △維持 △増加 成果 △向上 △維持 ○ △低下
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)		
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)		
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		